



## 第4回 稲門医学会学術集会 開催報告書

一般社団法人稲門医学会は、2020年12月13日（日）、第4回稲門医学会学術集会をWeb（Zoom）と運営会場を結ぶハイブリッド形式にて開催しました（当日配布の抄録あり）。延べ約70名の方々にご参加いただき、「これからの医学に早稲田ができること～ポリフォニー（多声）の必要性～」と銘打って、研究、臨床、ビジネスそして患者の立場から、それぞれの最新の知見、経験など、多様な立場から、活発に学際的討論がなされました。

一般社団法人稲門医学会の灰田宗孝会長の開会挨拶の後、アカデミア指名セッションとして、灰田先生座長の元、竹村洋典氏（東京医科歯科大学医学部教授）は「先端サイエンス・テクノロジーで分析する医師の診察」について、廣田和美氏（弘前大学医学部教授）は「日本の麻酔科学研究の現状と対策」について、朝日透氏（早稲田大学理工学術院教授）は、「これからの医学・医療への関心喚起の取り組み」についてそれぞれご講演いただき、セッションは終了しました。

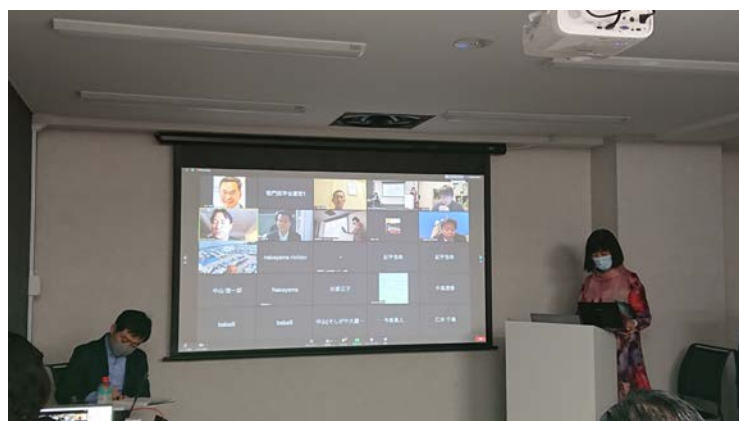
シンポジウム1は、「早稲田からの医療への新しい取り組み」と題して、宮田俊男氏（早稲田大学理工学術院教授）座長の元、鎌田光明氏（厚生労働省医薬・生活衛生局長）は「レギュラトリーサイエンスの実践－革新的技術の取り込み－」について、坂野哲平氏（株式会社アルム 代表取締役社長）は「医療への新しい取り組み～起業、ビジネスから～」について、村垣善浩（東京女子医科大学医学部教授）氏は「ロボット技術と未来の手術－スマートロボットとスマート治療室の開発－」についてご講演いただき、盛会のうちに終了いたしました。早稲田に医療系学部はないものの、医師である宮田教授や村垣教授をはじめ、医療の分野で早稲田の卒業生が活躍していることは大変喜ばしく、我々の励みにもなりました。

後半のシンポジウム2は、「当事者・市民協働の医療を目指して～当事者・市民が医療に望むこと」と題し、武藤真祐氏（医療法人社団鉄祐会理事長）と杉原正子氏（東京医療センター精神科医師）座長のもと川田龍平氏（参議院議員）をお招きしました。まず初めに、高山知朗氏（株式会社オーシャンブリッジ ファウンダー悪性脳腫瘍（グリオーマ）、悪性リンパ腫（急性リンパ性、白血病）、急性骨髄性白血病、大腸がんのサバイバー）には「4回のがん闘病経験から考える、医師と患者のコミュニケーションと信頼関係構築における課題」について、花井十伍氏（全国薬害被害者団体連絡協議会代表世話人、HIV 薬害訴訟大阪原告団長）には「医療経済、医療倫理、医学教育と当事者・市民協働参画」について、大野智氏（島根大学医学部附属病院臨床研究センター）には「補完代替療法を利用する患者心理から見えてくる、今、医療現場に足りないこと」をご講演いただき、最後に川田氏に、「政治が医療の改革にできること」についてご講演いただき、全員を交えたパネルディスカッションも原則チャットにしておりましたが、こちらのシンポジウムでは、Zoom参加者にも発言していただくことで、会場と参加者とのディスカッションも行うことができ大変有意義でした。

最後は、先日旭日小綬章を受章した学術集会大会長、早稲田大学校友会稲門医師会の羽鳥

裕会長より閉会の挨拶が行われ、今後の早稲田と医療のあるべき姿が語られ、盛況のうちに幕を閉じました。

今回は、感染拡大予防の観点から、運営メンバー及び一部講演者のみ会場に集合し、参加者は Web から参加するハイブリッド形式を取りましたが、たくさんの企業様（10 社の広告協賛、1 社の寄付）にご賛同いただき、運営メンバー一同、大変感謝しております。今回もたくさんの方々にご協力いただいたという事から、稲門医学会の注目度の高さが伺えます。本会の運営にご賛同、ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。



**一般社団法人 稲門医学会 (2020年現在)**

会長：灰田 宗孝 (東海大学医療技術短期大学 学長付)

副会長：大磯 義一郎 (浜松医科大学医学部医療法学 教授)

**第4回稲門医学会学術集会運営メンバー**

**大会長：**

羽鳥 裕 (稲門医師会 会長、日本医師会 常任理事 (医) はとりクリニック 理事長)

**プログラム担当：**

宮田 俊男 (早稲田大学理工学術院教授)

武藤 真祐 (医療法人社団鉄祐会理事長)

杉原 正子 (東京医療センター精神科医師)

**会場担当：**

中條 智美 (稲門医師会 幹事長、そしがや大蔵クリニック)

**広報担当：**

中條 智美 (稲門医師会 幹事長、そしがや大蔵クリニック)

北原 秀治 (東京女子医科大学 医学部解剖学講座 講師)

羽鳥 裕 (稲門医師会 会長、日本医師会 常任理事、(医) はとりクリニック 理事長)

**事務局、会計担当：**

北原 秀治 (東京女子医科大学 医学部解剖学講座 講師)

紀平 浩幸 (社会医療法人財団石心会 法人事務局 医師招聘部 副部長)



第4回

# 稲門医学会

**これからの医学に早稲田ができること  
～ポリフォニー（多声）の必要性～**

**2020年12月13日（日）**

会場：Web開催（Zoom及びYoutube配信を予定）

会費：3,000円

13:00～14:00 一般演題

14:00～15:00 シンポジウム1「早稲田からの医療への新しい取り組み」

15:00～17:00 シンポジウム2「当事者・市民協働の医療を目指して」

稲門医学会ホームページ

<https://tomonigakkai.wixsite.com/4thannualmeeting>



WASEDA  
MEDICAL ACADEMIC  
SINCE 2017

